

結果の解釈とアクション



解釈

- ・細胞破壊を示す数値は低いです。
- ・多くの健康な犬における結果と一致しています。

ローリスク
 ≤ 50 ng/mL

アクション

- ・今後も健康を維持するため、定期的に健康チェックを実施してください。

<注意事項>

- ・腫瘍の種類等によっては本検査で検出しにくいものがあるので、引き続き体調の変化には注意し、気になる症状があれば獣医師へ相談してください。

解釈

- ・細胞破壊を示す数値が高いです。
- ・腫瘍の可能性を考慮し、追加検査をご検討ください。

ハイリスク
 ≥ 81 ng/mL

アクション

- ・しこりやリンパ節の腫れがないか確認し、獣医師の判断により画像診断等の追加検査を受けてください。

<注意事項>

- ・重度の炎症や出血を伴う症例、免疫介在性疾患などで高値になる場合があります。

解釈

- ・細胞破壊を示す数値が、健常群を上回っています。
- ・値を上昇させ得るさまざまな要因が考えられます。

グレーゾーン
51-80 ng/mL

アクション

- ・絶食しており、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で2~4週間後に再検査してください。
- ・絶食しておらず、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で期間をあげずに再検査をしてください。

<再検査後のアクション>

- ・再検査後にローリスクとなった場合は、6か月後の再検査を推奨します。
- ・再検査後もローリスクでない場合は、ハイリスクと同様に、追加検査を検討してください。